

山行報告書

報告書作成

2009年1月5日

山名 [山域]	大日岳(1709m、奥美濃)	目的と方法	雪上訓練
登山期間	2008/12/13-14	山行形態	1泊2日(テント泊)
参加人数	5人		

行動記録

[12月13日] 河合池運動公園(530) =0:55= 長良川SA(625,655) =0:35= 高鷲IC(730) =0:20= 高鷲スノーパーク駐車場(755) - ゴンドラ駅上(915) -2:00- 大日岳山頂(1115) - [テント設営、昼食](1115,1200) - [雪上訓練](1200,1500) - 就寝(2100)

[12月14日]

起床(500) [雪上訓練:アイゼン歩行、弱層テスト、埋没体験など](700,830) 大日岳山頂(900) -0:45- ゴンドラ駅上(945,1030) +0:20+ 高鷲スノーパーク駐車場(1050,1110) =0:20= 湯の平温泉(1130,1245) =0:08= 高鷲IC(1253) =0:47= 美濃加茂SA(1340,1410) =0:45= 豊田東IC(1455) =0:05= 河合池運動公園(1500)

概念図



日誌

晴天。高鷲スノーパーク駐車場まで道路に雪はなし。ゴンドラ駅を降りて、ワカンを着けずに上り始める。膝丈まで靴が埋まって歩きにくい。小休止をとり、温度調節とワカン装着した。前大日岳で前に行く別のパーティーに会う。山頂からは360度の展望がきき、白山、御嶽山も全貌を現している。テント設営時に、のこぎりを使ってテントの風除け用に真四角の雪を切り出す体験をした。テントの北西側に壁を作る。レジ袋に雪を詰め込みテントの錘にして穴に埋め込む。

昼食後に雪上訓練。斜面を使っての滑落停止、スタンディングアックスピレイ、ビーコンを使った捜索などを行う。

夕食は豚肉とほうれん草のしゃぶしゃぶ、水餃子に続き最後はラーメンで締める。

翌朝はアイゼン装着による登下降・横断、弱層テスト、埋没体験、ゾンデ棒の体験などを次々に行った。

アイゼンを装着して下山し、ゴンドラ駅横のレストランでお茶休憩をとる。帰路湯の平温泉に寄り、15時には集合地の河合池運動公園に戻った。

感想

雪道を歩くこともたいへんでしたが、道のない雪上を歩くのは気持ちよかったです。滑落停止など様々な訓練を体験できありがたく思います。山岳会ならではの貴重な企画に感謝します。

この経験をもとにスノーハイキングから参加させていただきたいと思います。